

七夕吹き流し 思い思いに



真剣な表情で吹き流しを作る参加者



吹き流しができあがり、記念撮影をする参加者たち

八戸学院制作ワークショップ

八戸学院地域連携研究センターは16日、八戸市美術館で「アートな吹き流し飾り」を制作するワークショップを行った。家族連れ6組21人が参加し、子どもたちは真剣な表情で色々な個性あふれる七夕飾りの吹き流しを作り上げた。

(河原木真梨)

家族連れ、ユニークな素材使い

八戸学院大、八戸工業大、た。

八戸高専の3校による「大

学資産を活用したアートの は異なり、手鏡や小さな額
学び事業」の一貫で、今回 緑、紙コップ、ボールなど
は八戸学院大短期大学部の ユニークな素材を装飾に使
教員と学生が指導役を務め 用。参加者は吹き流しの骨

通常飾られる吹き流しと
は異なり、手鏡や小さな額
緑、紙コップ、ボールなど

ていた。

部分であるボウルとかご
に、思い思いに飾りを付け
た下吉夏騎さん(10)は、「い
ろいろなものをくつつける
のが楽しかった」と笑顔を
見せた。

講師を務めた池田拓馬准
教授は「アートの学び事業
なので、美術的な吹き流し
にした。教えたのはやり方
だけでも、子どもたちは自分
だけの視点で自由に作つ
た」と説明する。